

医・工・薬の融合が拓く 医療の新たな地平

京都市では、バイオ産業を21世紀の京都産業を支える大きな柱と位置付け、「京都バイオシティ構想」に基づき、バイオ分野の研究開発支援、産学公連携事業、販路開拓支援などを財団法人京都高度技術研究所と連携して進めています。

この度、医学、工学、薬学の融合領域における、京都発のイノベーションや新しい産業の創出につながるヒントを提供する目的で、この領域の先端を走る講師の方々をお迎えし、最新の研究開発状況や産学連携の事例をご紹介します。シンポジウムを開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

13:30 開会(あいさつ)

13:40 講演①「ありふれた技術からの革新的医療と
革新的技術からのありふれた医療」
京都大学再生医科学研究所 所長 岩田 博夫 氏

14:20 講演②「産学連携に基づく生体吸収性ステントの誕生」
(株)京都医療設計 代表取締役 伊垣 敬二 氏

15:00 講演③「高齢者における転倒のメカニズムと予防～脳からのアプローチ～」
京都大学大学院医学研究科 教授 荒井 秀典 氏

15:40 <休憩15分>

15:55 講演④「医薬品開発におけるアカデミアとの連携
～糖尿病治療薬アクトスの開発を中心に～」
武田薬品工業(株) 医薬研究本部 主席部員 小高 裕之 氏

16:35 講演⑤「Image navigationを用いた新しい前立腺がん診療」
京都府立医科大学附属病院 病院長 三木 恒治 氏

17:15 閉会(あいさつ)

平成24年
10月31日 水
13:30～17:20

定員100名
参加無料

京都大学医学部
創立百周年記念施設

**芝蘭会館
山内ホール**

申込は **WEB** または **FAX** で 詳細は裏面をご覧ください。 申込締切: **10月26日(金)**

URL : <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20121031>

FAX : 075-315-3614 裏面申込書にご記入のうえ、送信ください。

お問合せ 財団法人京都高度技術研究所 産学連携事業部 医工薬産学公連携支援グループ

電話番号: 075-315-3625 FAX: 075-315-3614 E-mail: ikouyaku@astem.or.jp
URL: <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical>

主催 京都市、財団法人京都高度技術研究所

後援 京都大学大学院医学研究科、京都大学大学院薬学研究科、京都大学再生医科学研究所、京都府立医科大学、
経済産業省近畿経済産業局、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、京都府、京都商工会議所、
公益社団法人京都工業会、京都産学公連携機構、京都産業育成コンソーシアム(予定を含む)



芝蘭会館 山内ホール
京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

第2回 医工薬産学公連携支援シンポジウム

医・工・薬の融合が拓く 医療の新たな地平

ありふれた技術からの革新的医療と 革新的技術からのありふれた医療

京都大学再生医科学研究所 所長 岩田博夫氏

従来、外科では体を大きく切って手術をしていたが、血管をたどるルートで治療をしようと考え、単なるプラスチックのチューブが革新的な医療デバイスに変身する。逆に腎透析はありふれた医療であるが、もしも血液凝固を引き起こさない革新的材料を開発できれば、抗凝固剤の事前投与の必要がない治療を確立できる。

講演では、「ありふれた技術」「革新的な技術」が切り拓く医療の新たな地平を指し示す。

産学連携に基づく 生体吸収性ステントの誕生

㈱京都医療設計 代表取締役 伊垣敬二氏

心筋梗塞などの治療に利用される金属ステントには、治療期間以後も体内に残留するという欠点がある。医療現場からの呼びかけで、この課題に挑んだ京都医療設計は、体内で分解・吸収される、世界初のステントを開発した。

講演では、医師や大学との協働のあり方を背景に、製品化から海外市場進出までの戦略を紹介し、今後の国内市場参入を展望する。

医薬品開発におけるアカデミアとの連携 ～糖尿病治療薬アクトスの開発を中心に～

武田薬品工業(株) 医薬研究本部 主席部員 小高裕之氏

アクトスの薬剤コンセプトは「インスリン抵抗性の改善」である。これは、武田薬品が大学との連携で確立した、糖尿病モデル動物とそれを用いた病態研究から生まれている。さらに、アクトスの標的分子(PPAR γ)の発見や、インスリン標的細胞でシグナル伝達を改善する仕組みの解明でも、大学の寄与は大きい。

講演では、大型新薬開発を事例に、産学連携での企業と大学、それぞれの役割を提示する。

Image navigationを用いた 新しい前立腺がん診療

京都府立医科大学附属病院 病院長 三木恒治氏

現在医療の現場では、医用画像などの生体情報を提供し、遠隔操作手術をナビゲーションするなど、医師の診療を支える精密手術用機器が導入され始めている。

講演では、前立腺がん診療における、前立腺全摘除術中での応用や、超音波ガイド下生検にMRI画像情報を融合したMRI-TRUS fusion biopsyなど、ナビゲーション医療の最前線を紹介する。

高齢者における転倒のメカニズムと予防 ～脳からのアプローチ～

京都大学大学院医学研究科 教授 荒井秀典氏

高齢者の転倒・骨折は、寝たきりの主要な原因の一つである。転倒の原因は循環器系、神経系、感覚系などがあるが、認知症患者では転倒リスクは高いことが知られている。

そこで認知機能低下患者を対象に、脳萎縮と、転倒の有無、運動機能、認知機能の関連を解析した結果、脳萎縮は転倒に対する独立した関連要因であることが示唆された。講演では、脳へのアプローチでいかに転倒を予防するか考察する。

申込方法 Web申込フォームより、必要事項をご入力の上、お申込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供にご同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申込みください。

申込先 ▶ 財団法人京都高度技術研究所 産学連携事業部 医工薬産学公連携支援グループ

URL : <http://www.astem.or.jp/business/coordination/medical/symposium20121031> または FAX:075-315-3614

※申込みいただいた方に特に連絡いたしませんので、直接会場へお越しください。

参加証の発行はいたしません。定員の都合上ご参加いただけない場合のみ連絡いたします。

申込締切 平成24年10月26日(金) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

フリガナ		
お名前		電話番号 / FAX番号
ご所属 (企業、大学、機関等)		E-mail アドレス
部署・役職		

事務局における個人情報の取扱について

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

1. 個人情報の利用目的

ご入力いただきました個人情報は、主催者で管理させていただき、本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催または共催する催事のご案内に利用させていただきます。

2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属を京都市に提供することがあります。

3. 個人情報の委託について

個人情報保護に関する契約を締結した専門家に講師を委託しております。

4. 開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続きにより、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

下記「個人情報の取扱について」を確認し、同意のうえ申込みます。
チェック をお願いします。

同意する

5. 個人情報を入力するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 財団法人京都高度技術研究所

<個人情報保護管理者> 総務部長

<窓口> 総務部

所在:京都市下京区中堂寺南町134番地

TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614

URL:<http://www.astem.or.jp>

※電話は、平日(月～金※祝祭日を除く)9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、

<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。